

# 米倉みな子

ごあいさつ

市議会レポート

たくさんの方々のご支援をいただき、札幌市議1期目として議会活動を全力ですすめています。市民の声に寄り添い大切にする市政の実現をめざします。皆様のご意見を、ぜひお聞かせください。

米倉 みな子

一人ひとりが大切にされる札幌・北区をつくりまします

## 米倉みな子 プロフィール

- 1972年 札幌市生まれ
- 91年 北海道札幌藻岩高等学校卒業
- 93年 光塩学園女子短期大学 食物栄養科卒業
- 93～2013年 民間会社や、栄養士として医療機関に勤務
- 21～22年 生活クラブ生活協同組合 北支部運営委員長
- 23年 札幌市議会議員に初当選



[現在] 1期目、札幌市議会財政市民委員、冬季オリンピック・パラリンピック調査特別委員、北区福祉を考える会代表、人権を考える北区市民の会代表、子どもの未来を考える札幌市民の会代表

## 2023年 第2回 定例市議会 報告 (抜粋)

札幌市一般会計予算など議案19件が可決されました。一般会計補正予算額は342億円で、補正後の総額は1兆2,422億円と膨らみました。札幌市の財政力指数は2021年度決算で0.724と、政令指定都市平均と比べて特に低く、また市債残高は2021年度決算で一人当たり56万円であることから、将来世代へ過大な負担を先送りしない財政運営を行うことを米倉みな子は討論で要望しました。



▲本会議場で討論を行う米倉みな子(7月11日)

### 「第一部議案審査特別委員会」より(6/29)

#### ◆気候変動対策をすすめるため、札幌市が主体的な発信を!

積雪寒冷地の札幌では、CO<sub>2</sub>排出量の多い灯油暖房を使用している世帯が半数以上です。今回提案されている「省エネ家電等転換キャンペーン事業」は、CO<sub>2</sub>削減に向け、寒冷地エアコンや冷蔵庫等の省エネ家電を購入すればキャッシュレスポイントを付与するものです。

寒冷地エアコン等の設置には様々な条件がありますが、市民への情報提供や周知を家電量販店に任せきりにせず、札幌市が責任を持って主体的に発信し、気候変動対策をリードしていくことを質しました。

### 「冬季オリンピック・パラリンピック調査特別委員会」より(7/6)

#### ◆「住民投票条例」制定に向け 早急に全庁的な議論を!

**質問** 大会を招致すること自体への市民理解が不十分な中、大会運営の見直しの検討は市民意見の軽視と考えます。市民の様々な声は、具体的にどう見直し案に反映されるのか。

**答弁** 出前講座やワークショップで7,000名の方々と対話し、電話やメールでの意見も真摯に受け止めてきた。今後は説明会等で市職員自ら市民と直接対話して声を把握し、見直し案に反映していく。

**要望** 秋元市長は、2023年2月の議会で石川さわ子市議の「五輪招致は市政の重要事項か」との代表質問に対し、明確な答弁はせず「住民投票条例を制定していくにあたり、客観的な考え方について議論しなければならない」と答えました。しかし、その議論は未だになされていません。札幌市政において市民意向を把握し反映するためには住民投票条例が必要です。

